

檀信徒・光明館会員各位

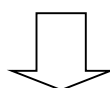
妙清寺節分追儺会のご案内

合掌、皆様におかれましては日々ご健勝のことと拝察申し上げます。妙清寺では毎年2月3日午後6時より節分追儺会(せつぶんついなえ)を厳修しております。本年厄年の方の厄除けと方位除けを住職以下各僧侶をお招きして執り行います。古来日本では立春の二月三日を歳の区切りとして運気の切り変わりと位置づけ節分会を行い悪鬼(悪気)を払う行事として一年の平穏無事を祈りました。妙清寺の節分会は形式だけの厄払いではなく、参詣の方全員に加持祈祷を丁寧におこない、僧侶方が体を張って厄災除けを祈願致します、皆様お誘いあわせの上ご参詣下さいますようご案内申し上げます。再拝

申し込み方法

1. 本年厄年、厄方位については別紙を参照してください。
2. 準備の都合上1月末日までに裏面の申込内容をご記入の上、以下の方法でお申し込みください。
 - ① 当日参加される方は、以下のいずれかでお申し込みください。
 - ・来館(祈祷料は、申込時または当日、受付にてお納めください)
 - ・郵送(祈祷料は、現金書留または当日、受付にてお納めください)
 - ・FAX(祈祷料は、当日、受付にてお納めください)
 - ② 当日参加できない方は、以下のいずれかでお申し込みください。
 - ・来館(祈祷料を申込時にお納めください)
 - ・郵送(祈祷料を現金書留にてお納めください)
 - ・FAXでの申し込みはお受けできません。※お申し込みは、電話ではできませんのでご領収ください。
3. 当日参詣できない場合でも祈願いたします。お札の受け取りは、以下の方法でお願いいたします。
 - ① 後日(1カ月以内 3/3 まで)に、管理寺務所まで取りにきてください。
 - ② 郵送をご希望の方は、お札4本まではお送りいたします。別途 **1,000円** 送料をお納めください。
4. 祈祷料は厄年、方位除け共に一体 **8,000円** をお納めください。
5. 申込者以外のご参詣も歓迎しております、ご家族知人お誘い合わせてお参りください。

お申し込みは裏面へ



祈祷申込書

厨子番号 _____

ふりがな _____

契約者氏名 _____

電話番号 _____

当日出席 参加 (_____ 名) / 不参加 (後日来館 ・ 郵送希望) _____

郵送希望の方は送り先住所

氏名 _____

住所 〒 _____

① ふりがな: _____

願主(氏名): _____

生年月日: (_____) 年 月 日

性別 : 男・女

②ふりがな: _____

願主(氏名): _____

生年月日: (_____) 年 月 日

性別 : 男・女

③ ふりがな: _____

願主(氏名): _____

生年月日: (_____) 年 月 日

性別 : 男・女

④ふりがな: _____

願主(氏名): _____

生年月日: (_____) 年 月 日

性別 : 男・女

③ ふりがな: _____

願主(氏名): _____

生年月日: (_____) 年 月 日

性別 : 男・女

④ふりがな: _____

願主(氏名): _____

生年月日: (_____) 年 月 日

性別 : 男・女

祈願内容は以下の通りになります(全て含む)

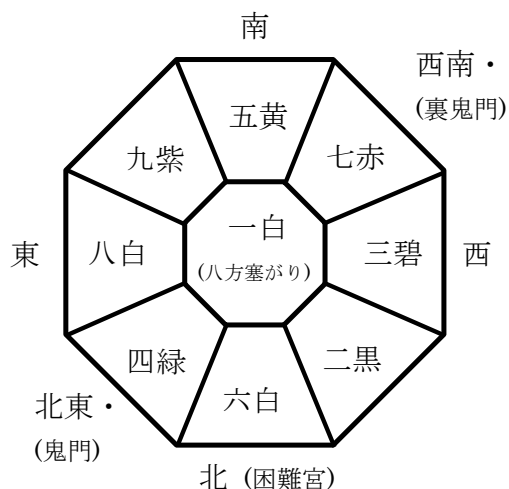
- ・厄年 ・方位除け ・年男年女 ・身体健全 ・職場安泰 ・交通安全
- ・家内安全 ・家庭円満 ・闘病平癒 ・所願成就 ・諸難退散 ・良縁成就

連絡先

〒221-0075 横浜市神奈川区白幡上町 21-30

岸野山妙清寺(光明館)TEL045-439-5131 FAX045-439-5132

令和八年度 方位吉区表



方位の清め方

自分の領の方位に当たる家の外側を、塩・米・酒の順にまき清めてください。(例：**六白金星**の方は北の方角) 日時は、1月1日～3日、又は2月2日～4日とします。マンション等で外に撒くことの出来ない人は、家の中側のその場所に、新聞紙を敷き、そこに撒いてください。塩・米・酒は、撒く前に仏壇、もしくは神棚に供えてください。仏壇・神棚が無い方は、東方の高い位置にお供えし、まいてください。

令和八年の方位除け

令和8年、あなたの星まわりが
中央・北・艮 (北東)・坤 (西南)に位置する年齢

六白金星(北・困難宮)	七赤金星(西南・裏鬼門)
昭和6年生まれ 96歳	昭和5年生まれ 97歳
昭和15年生まれ 87歳	昭和14年生まれ 88歳
昭和24年生まれ 78歳	昭和23年生まれ 79歳
昭和33年生まれ 69歳	昭和32年生まれ 70歳
昭和42年生まれ 60歳	昭和41年生まれ 61歳
昭和51年生まれ 51歳	昭和50年生まれ 52歳
昭和60年生まれ 42歳	昭和59年生まれ 43歳
平成6年生まれ 33歳	平成5年生まれ 34歳
平成15年生まれ 24歳	平成14年生まれ 25歳
平成24年生まれ 15歳	平成23年生まれ 16歳
令和3年生まれ 6歳	令和2年生まれ 7歳

一白水星(中央・八方塞)	四緑木星(北東・鬼門)
昭和11年生まれ 91歳	昭和8年生まれ 94歳
昭和20年生まれ 82歳	昭和17年生まれ 85歳
昭和29年生まれ 73歳	昭和26年生まれ 76歳
昭和38年生まれ 64歳	昭和35年生まれ 67歳
昭和47年生まれ 55歳	昭和44年生まれ 58歳
昭和56年生まれ 46歳	昭和53年生まれ 49歳
平成2年生まれ 37歳	昭和62年生まれ 40歳
平成11年生まれ 28歳	平成8年生まれ 31歳
平成20年生まれ 19歳	平成17年生まれ 22歳
平成29年生まれ 10歳	平成26年生まれ 13歳
令和8年生まれ 1歳	令和5年生まれ 4歳

あなたの未来を開けるのはあなた自身です

じょ 除 かい 厄 やく 開 うん 運

令和八年の厄年

	前厄	本厄	後厄
男の大厄 42歳	昭和61年・60年・59年		
小厄 25歳	平成15年・14年・13年		
女の大厄 33歳	平成7年・6年・5年		
小厄 19歳	平成21年・20年・19年		
男女厄年 49歳	昭和54年・53年・52年		
々 厄年 55歳	昭和48年・47年・46年		
々 厄年 60歳	昭和43年・42年・41年		
幼児の厄年 3歳	令和6年		
々 厄年 5歳	令和4年		
々 厄年 7歳	令和2年		

(年齢は数え年です)

『厄』とは=わざわい・災難
自分で出来る厄よけ
(厄を流す。厄を呑み込む)

仏壇・神棚に、塩・米・酒・豆腐をお供え、そのうち塩・米は玄関の外側に撒きます。供えることは、仏様・神様・ご先祖様に、見守って戴くということであり、撒くことはその力を戴き、玄関から魔が入らぬように清めるということです。

また豆腐は、一丁を自分の歳の数に自ら切り、川に流すか、または食します。その場合、家族でよくするのも良いでしょう。それは、厄を一人で背負うのではなく、家族みんなで背負い、荷を軽くすることであり、家族みんなに見守ってもらうということを意味します。

〒221-0075

横浜市神奈川区白幡上町 21-30

岸野山 妙清寺

TEL: 045-401-3258